

市民農園の質問箱に対する回答

市民生活部農業振興課

農園名 北中沢 東道野辺 西佐津間

氏名



質問日 令和 4年 7月 3日

質問内容

里芋を植えています。最近添付の蛾の幼虫に葉を荒らされています。見つけたら殺していますが、他にも対策がありますか？

写真



回答者	<input checked="" type="checkbox"/> 鎌ヶ谷市農業士等協会 <input type="checkbox"/> 東葛飾農業事務所 改良普及課 <input checked="" type="checkbox"/> 鎌ヶ谷市農業振興課
回答日	令和 4年 7月15日
質問区分	害虫
回答内容	<p>写真から、セズジスズメガの幼虫と思われます。 幼虫は里芋、さつまいも、やぶからし等の葉っぱを食害します。 小さいうちは農薬が効きますが、大きくなると効きません。 里芋に使える農薬には、アディオンやプレオフロアブル等がありますが、対象の害虫が「ハスモンヨトウ」であり、チョウ目のため、同じチョウ目のスズメガにも効果が期待できます。農薬の取り扱いはラベルをよく見て、指定されている濃度・回数を守るようにします。</p> <p>大きくなった幼虫は目立つので見つけ次第駆除します。 葉の裏側も確認し、卵や幼虫をしっかりと駆除したあとは、ネットをかぶせるのも有効です。里芋は大きくなりますので、アーチパイプなどで高さをとって虫が入ってこないよう、下までしっかり覆います。ネットをかぶせた後も時々中を確認します。ネットと葉が接していると、ネットの隙間から卵を産み付けることがあり、ネットの中で外敵から守られた状態になってしまいます。</p> <p>なお、里芋の植え付けは深め（15センチくらい）にし、土寄せをするため、間隔をあける（70センチくらい）ようにします。</p>